

●みえリニア戦略プラン（仮称）検討委員会 第1回委員会 主な意見とりまとめ表

資料1「みえリニア戦略プラン（仮称）検討委員会設置要綱（案）」について

該当箇所	意見	事務局対応意見	結果再修正案
第4条	第4条の委員について、必要に応じて新たに増員することができるかとされているが、駅からの移動を考えたとき、タクシー事業者の代表を新たに加えてはどうか。	現時点で三重県リニア駅の位置が確定していないため、三重県全体の交通ネットワークを本プランで検討しており、今後、駅位置が確定し、駅前交通広場の具体的な検討等で業界の意見等が必要になった時点で検討したい。	同左

資料2 みえリニア戦略プラン（仮称）の検討テーマおよびスケジュールについておよび補足資料

該当箇所	意見	事務局対応意見	結果再修正案
P3 ＜補足説明 資料＞P1	①「みえリニア戦略プランの（仮称）の構成イメージ」の「5これからの取組」の内容が不明確 ②各取組のスケジュールは不要か？ ③各取組については、どの組織が主体的に取り組むかを明示すべき	①③「5これからの取組」では、プランに基づく具体的な施策や事業の展開に向けての事業の進め方や役割分担を可能な範囲で記述したい。 ②スケジュールは現時点で名古屋開業、大阪までの全線開業が明らかになっていないため、プラン策定期間中の動向を踏まえ検討したい。	「5これからの取組（今後の事業の進め方や役割分担）」と記載する。
P4	資料2のP4の中で、3つのエリアブロック別にそれぞれ検討していくものと推察するが、全体の調整も含めて各ブロック別の会議をどのように進めていくのか。	3エリアでそれぞれ4つの部会、計12部会を開催し、12部会から部会長を選任し、幹事会でそれぞれ部会での意見等を総括・調整していきたい。	修正なし
P2	・P2に「リニアとともに歩む「みえのリ・デザイン」」という記述があり、表現は短くて語感もよいキャッチコピーと感ずるが、基本戦略には出てこない表現であり、網羅的で抽象的な表現でもあるため、県民の方からするとこの表現から何をイメージするか少し想像しにくいのではないかと。公表時にもこの表現が入るとしたら、「みえのリ・デザイン」をイメージさせるようなイラストや補足説明を加えてはどうか？県民の方々にとって更に理解しやすくなるかと感じる。	ご意見を踏まえ、中間報告、最終報告時の県民等への公表時に補足記述やビジュアル的にも理解しやすくなるよう検討したい。	修正なし
P2	①「みえのリ・デザイン」のこの色は、どういう意味があるのか？（カラー印刷ができない場合もあるため） ②戦略1～3は、どれも「みえ」が選ばれないといけない。そのための情報発信やPRなども検討されるべきではないか。これまでのイメージを変え、三重を選んでもらうためのブランド化が必要になると感じる。	①「みえのリ・デザイン」の色彩は、三重を「みえ」に平仮名にしたことから見やすさを考慮し、「の」の色彩を換えたことが理由。ご意見を踏まえ、今後の公表に向けて資料全体デザインの過程で検討したい。 ②ご指摘のとおり各戦略において、戦略的なデザインとともに情報発信、PRは重要な視点と捉え、策定過程で検討したい。	修正なし
P2	資料2ページに、「新街道で日本のサードプレイス・賑わいづくり」の表記があるが、この考えは、3つの戦略1～3の取り組みの中心となるものなのか、3つの戦略により新たに生み出されるものなのか、又は、3つの戦略の間に位置付けられるものなのか、位置付けが分りにくいため、記載の工夫が必要と考える。	図は、基本戦略における「めざす三重の姿」を3つの戦略の取組を横断的に取り組むことで実現していくことを表現している。ご意見を踏まえ、県民が理解しやすくなるよう今後の公表に向けて資料全体デザインの過程で検討したい。	修正なし
「三重県リニア基本戦略」本編3 リニア開業がもたらす効果	「3 リニア開業がもたらす効果」において時間短縮効果が記載されているが、三重県駅においてどの程度の乗降客数が想定されるのか。乗降客数は効果を考えるうえで基本的な要因の一つと捉え。鉄道会社の運行計画によるが、先行地域等の計画から推定値を示すことができれば、県民の方に「リニア開業がもたらす効果」をより伝えやすくなるのではないかと。	先行地域（山梨、長野、岐阜）では、リニア駅での乗降客数は駅位置が確定してから推計されており、名古屋以西はまだルート、駅位置が未確定であるため、推計の精度（信頼度）が低くなる。よって駅位置が当プラン公表時期以降に確定した場合、戦略プランの改訂やブラッシュアップ時に改めて示す方向で検討したい。	修正なし